

# 一般質問



○御前崎市総合計画の  
実施に向けて

9名が登壇・市政を問う

## 今後の財政運営について

問 今回示された歳入見込みと合併協議会の歳入見込みを対比すると18年度予算額は、186億円、合併協議会の18年度歳入見込みは220億円で、34億円の減、試算では5年後の22年度歳入見込みは約135億円、合併協議会の歳入見込みは約196億円で、約61億円の減となっており、年を追うごとに減少幅と減少額が大きくなってまいります。なぜこのような大幅な違いが生じたのか

答 新市建設計画における財政計画は、13年度決算額をベースに策定いたしました。基になる数値として使用した13年度の数値を歳入・歳出双方から詳細分析を行わなかったため、今回の総合計画による財政見通しと大きな違いが

阿南 澄男 議員

生じました。

問 向こう10カ年の総合計画の実施等を考えると、今後の財政収支のバランスは大きな問題であり、健全財政の構築に向けての取組方法や歳出の削減、歳入の確保についての基本的な考えは

答 今後10カ年の収支見込みは大変厳しいものとなっております。今後の財政運営に当たっては、実施計画に基づき財政調整基金の繰入や起債の借入などによる財源措置で、財政収支の均衡を図り、今後は「適正なサービス、公平な負担、事務事業」の見直しを進め経費の削減をし、健全財政に努めます。

